

(前頁より続く)

し合いをしているわけだから、自分で自分の家族を殺しているのと同じだと思います。人の家族を殺しているんだったら、自分の家族を殺しているのと同じような気がします。(中略)地球から争いごとがなくなる日は来ないかな。争いがあっても、話し合いで解決していけたらいいなあ。今でも地球のどこかで戦争をやっている国があるから、戦争をしても大切な物を失うだけだと知って欲しいです。

6年女子Bさん

私は防空頭巾をかぶっていたら、火が来ても少しは助かると思っていました。だけど、お話を聞いて防空頭巾は役に立たないと聞いて本当に怖くなりました。今まで感じていた戦争の恐ろしさよりもっとこわくなってしまいました。私がもしその時代の人だったら、それを考えるとお母さんやお父さん、兄弟と別れなくてはならない悲しさに耐えられないと思います。家族を亡くし、とってもつらい気持ちだったということが、戦争のお話を聞いて少しずつ分かってきました。今でも戦争が続いているイラクやアフガニスタンなど、世界中では私たちが寝ている時や勉強している時など、私たちが平和で暮らしているときでも、戦争が起こっている国がある。私たちが平和に暮らしている普通のこと、本当はとっても幸せで、感謝しなければならないことなんだなあと思えて感じました。

6年男子C君

ぼくは今まで戦争ってと聞かれると、怖いぐらいしか言えなかったけど、戦争はなぜ起こるのが分かりました。(中略)ぼくと同じ位なのに、親と離れて暮らすなんて考えられない。今で当たり前のことだが、昔はできていなかったということを初めて知りました。戦争をしても何も生むことがないと聞いて、その通りやなと思いました。命を大切にするとか、お母さんを大切にするとかいうことはとても伝わりました。お母さんの遺体を持つとか、ぼくにもその気持は分かったけど、ぼくが思っている以上のことだと思います。貴重な体験をありがとうございました。とても勉強になりました。ぼくは聞くだけだったけど、実際はもっともっとつらかったんだろうなと思います。

6年担任の西沢先生

子ども達だけでなく、我々大人にとっても「戦

争体験」はありません。しかし、そのときの人々の思いや暮らしなど、その時代に生きてきた人々から聞くことは非常に大事なことです。今回は「神戸大空襲」を中心に、体験談を聞くことができました。なかでも、ご自分の母親をなくされた方のお話は子ども達だけではなく、我々大人にとっても非常に心痛むものがありました。(中略)私自身、戦争を体験しておりませんが、様々な方からお聞きすることがあり、少しでも教師という立場から子どもたちに伝えていきたいと考えております。(中略) 今回のお話でもありましたが、広島・長崎にどうしても注目して学習を進めがちになりますが、やはり自分たちの足下をしっかりと見ておくことが必要であると思います。今回のお話を子ども達が子ども達なりに自分の心の中で考え、次に自分たちがそれをどう生かしていくのが大事であると話しています。まず、身の回りの人に自分が感じた思いを伝え広めていくことで、延いては平和への取り組みの第一歩になると確信しております。

第1回「学習支援者の集い」開催ご案内

日時；平成22年4月20日（火）13:30～16:30

場所；神戸市シルバーカレッジ 2階学習室

議題 ①平成22年度の活動について

②グループディスカッション

③その他情報交換・連絡

※登録者に限らず在校生、一般の方の参加を歓迎します。

灘区会

御挨拶 灘区会長 食文10期 木下完治

今回 灘部会を 福田会長から引き継ぎ 任されました木下完治です。食文10期生で 現在 文化部会 食育Gに所属しております。

今日までのボランティア活動としましては、K S Cにて青陽東養護学校・男性料理教室補佐員として活躍しております。それ以外は 地元の小学生投稿見守隊・地元市営公園の清掃作業や花壇管理の経験をしています。

今後は 灘部会のブランクを修復して、`わ`本部の御指導を頂き出来ることから 一つずつ前進して行きたいと思っております。

皆様 どうぞよろしくお願い申し上げます。